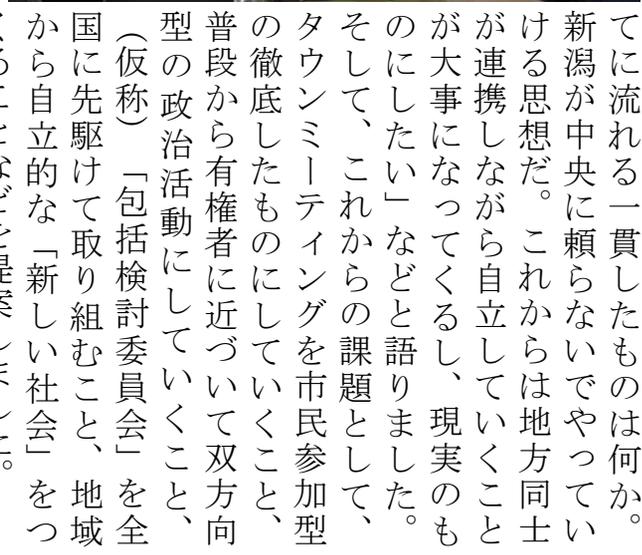


参院選、知事選で見えた新しい市民政治の胎動を生き生きと 「にいがた自治体研究所」主催の講演会、米山知事も参加



てに流れる一貫したものは何か。新潟が中央に頼らないでやっていける思想だ。これからは地方同士が連携しながら自立していくことが大事になってくるし、現実のものにしたい」などと語りました。そして、これからの課題として、タウンミーティングを市民参加型の徹底したものにしていくこと、普段から有権者に近づいて双方向型の政治活動にしていこうこと、(仮称)「包括検討委員会」を全国に先駆けて取り組むこと、地域から自立的な「新しい社会」をつくることなどを提案しました。

「にいがた自治体研究所」主催の講演会が4日、新潟市内で行われました。会場には「市民がつくり出した新潟知事選の勝利」という横断幕が下げられ、米山知事が途中で会場に駆けつけ挨拶もする。同研究所の講演会としては異例ともいえるべき取組に参加者は興奮しました。

講演のトップバッターは市民連合@新潟の共同代表、新潟国際情報大学の佐々木寛教授です。私は初めて佐々木教授の講演を聴きました。タイトルは「新しい市民政治の胎動一参院選・知事選の経験から」でした。

同教授は歴史に残る参院選と知事選について、「双子の選挙だった。よく2連勝ですわと言われるが、スポーツじゃない(笑)。市民連合などががんばる中で保守が分裂した。農協をまわると、農家の現実を見ればわかるでしょ、今回はお灸をすえますよという声が聞こえてきた。私たちの地域や地方は自分たちが立ち上がらないと守れなくなってきた。地方の自立が選挙の争点の一つだった」「米山さんの公約すべ

もうひとつの講演は、京都大学の岡田知弘教授の「沖繩から新潟へ、前進する自治体と地域経済の展望」というタイトルでのお話でした。岡田教授の講演は、米国でのトランプ政権の誕生をどう見るかという話から始まって、安倍流「富国強兵」国家づくりと矛盾の集中点での対抗軸、沖繩の翁長知事誕生に至るまでの沖繩でのたたかひの歩み、新潟県における米山知事誕生に至るまでの歴史的な文脈などへと展開されました。これらの話は1冊の本になるだけの分量と内容のある講演だったと思います。同教授はここ10年ほど毎年新潟にやってきて、調査活動や講演などをされてきました。新潟県政に関する部分は、その蓄積があるからこそその内容だったと思います。聴きごたえのあるお話でした。

地域学の場を全県に…研究所総会

講演会に先立って「にいがた自治体研究所」では29回目の総会を開催しました。冒頭、挨拶



【ミツマタ】ジンチョウゲ科で落葉低木。和紙の原料として有名ですね。漢字で「三椏」と書きます。3月から4月にかけて黄色の花を咲かせます。写真は吉川区代石にて撮影しました。まだつぼみの段階です。

拶に立った石崎誠也理事長(新潟大学教授)は先の新潟知事選についてふれ、「決してワニィシューではなかった。地方住民を大事にするか、中央中心・大企業中心の政治かが問われた。今後、日本の政治のあり方も変わっていくのではないか」とのべました。

新年度の方針の中で私は、京都大学の岡田知弘教授の「首長、議員、職員、住民が地域を知り、科学的に将来を見通せる『地域学』の場が不可欠になっている」という提案に沿って、地域学の場を全県の段階で組み立てることが必要針の中では、米山県政を支える政策と学習の重要性、柏崎刈羽原発の再稼働を許さない政策なども強調されました。



雪が降っても雨が降っても
「安倍内閣の暴走を許すな」「安民法制の廃止を！」市民有志によるスタンディングが続けられています。写真は6日、浦川原物産館近くで。

はしづめ法一の活動レポート

No.1794 2017.2.12
発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ「ホーセの見たある記」はこちら
橋爪法一 検索

春よ来い

第四四二回

キツネのこと

一時期、「びっくりしたなあ、もう」という言葉がはりました。たしか三波伸介のギャグだったと思います。先週の木曜日の朝、その言葉にびったりのことが私の地元事務所で見ました。

たまたま事務所の中から外を見ていた妻が突然、「お父さん、お父さん、キツネがいるよ」と言いました。私は自分の机の上においていた携帯電話を持って窓のそばに行きました。窓から見ると、建物からわずか二〇メートルくらいしか離れていない雪の上をキツネがゆっくりと歩いているじゃありませんか。体長は六〇センチから七〇センチくらいあります。少し赤みがかかった黄色の毛をした大きなキツネでした。

私はすぐに携帯電話の動画機能を使って撮影を始めました。キツネに「おはよう」と言いながら、時折、吹雪く雪の上を埋まりながら歩くキツネの姿を撮り続けました。こんなに近くで撮れるなんて幸運です。私はとてもうれしくなりました。

カメラをまわし始めて数秒後、また妻が言いました。「あっ、また来るよ」。その言葉が私の耳に伝わった瞬間、なんとなんと、カメラにもう一匹のキツネが写ったのであります。雪煙りをあげて猛スピードで別のキツネがやってきて、最初にやってきたキツネが身構えたときは、敵の攻撃かと思っただけですが、そうではありませんでした。二匹のキツネが二本足で立ってじゃれあっていたのです。そして、まもなく二匹は連れだつて森の中に消えて行きました。

近くでキツネの動きを見られるだけでもすごい興奮したのに、一匹が一緒になつて、じゃれ合う姿まで見ることになるのは……。まさに「びっくりしたなあ、もう」でした。

動画に撮ったのは約二〇秒。その映像はただちにフェイスブックで発信しました。こんなめずらしい光景は自分だけで見てい

るのはもったいない、多くの人から見たいなと思つたのです。

発信後、直ちに反応がありました。一番最初にコメントを寄せてくれたのは市内在住のFさんです。「おはようございます。微笑ましい風景ですね」と書いてくださいました。同じく市内在住(たぶん)のOさんも「素晴らしいチャンスでしたね。コンちゃんのように仲良く元気に」とコメントしてくださいました。元新聞記者だった福井県永平寺町のKさんまでもが「凄い！よくこんな瞬間を目撃はももちろん、撮影できましたね。ドキドキしたでしょう」とほめてくださいました。

いただいたコメントの中には市内のN子さんからいただいた、「『手袋を買いに』という物語を思い出しました！」というのがあります。私は岩波文庫の『新美南吉童話集』を購入し、すぐに読みました。

この童話集の中にはキツネの話が三つもありました。『ごん狐』『手袋を買いに』『狐』です。いずれの話でもずるがしいキツネは一匹も出てきませんでした。いたずらを悔い、つぐないをするキツネ、親子の情がたつぷりのキツネの母親と子の話などは、私のキツネに対するこれまでのイメージを大きく転換するものでした。

じつは先週の日曜日にも私はキツネの姿を撮影してしまいました。その日の朝は冷え込んだものの、気温上昇に伴い、あちこちの雪原で靄(もや)が発生していました。その様子を撮影しようとかメラを向けたところ、田んぼをサーッと走り抜ける動物がいたのです。これもキツネでした。このときは、ほんの三、四秒しか撮れませんでした。この経験があったからこそ、二匹が出てきたキツネの撮影を落ち着いて行うことができたと思つています。

私の勘では、今冬もう一回、キツネと出合う気がします。

(仮称)地域安全支援員は31人体制に

総務常任委員会では6日、交通安全教育の推進とその体制について質疑が行われました。中心は交通安全指導員制度を廃止して新たに(仮称)地域安全支援員制度を今年4月からスタートさせることについてで

す。これまで、委員会では交通安全指導員や関係団体に対する説明と意見聴取が十分行われていないこと、交通安全指導員から支援員を選任していく基準が明確でないことなどに強い不満の声が上がっていました。

最初に防災危機管理部長が前回の委員会以降、交通安全指導員や交通安全協会支部長、PTA会長などに説明した内容と反応を報告し、それらを受けて、地域交通安全指導員制度を見直したことを明らかにしました。

それによると、関係者からは一部で反対の声があったものの、ほとんどの人が新制度への

移行を容認したとのことです。(仮称)地域安全指導員は立哨を行わず、交通安全、防犯、防災に関する教育、啓発活動を行います。定数は前回示された22人が31人へと9人増えました。これは児童数や世帯数が平均値を超える大潟町中学校区、柿崎中学校区など9校区では2人体制にしたことによります。任期は2年。交通安全、防犯等に関する活動の経験及び知識を有する人から市長が委嘱します。今後、3月末までに支援員の候補を選出するとともに、安全教育等の実施計画を作成するとい

質疑では、「交通安全指導員に対する説明会では諦め感があって意見が出にくい状況があったのではないか」「指導員から支援員を選任する基準が依然として明確でない」「支援員相互の連携、支援員とボランティア、行政との連携はどうなるのか」「支援員は立哨しないということであれば制服でなくてもいい。任務に相応しい帽子とベストを」などの発言が続きました。写真は当日の審議。

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	2月1日(水)	2月8日(水)
上越南消防署	0.047	0.047
上越北消防署	0.057	0.050
新井消防署	0.047	0.040
頸北消防署	0.047	0.047
頸南消防署	0.043	0.067
東頸消防署	0.053	0.050
高士分遣所	0.040	0.050
名立分遣所	0.053	0.050

